

S-180 OJ 式現場 CBR 試験装置取扱説明書



JIS A 1211 に規定されるとおりの油圧ジャッキを使用した現場 CBR 試験装置で、油圧ジャッキは 50kN のもので最小目盛 1kN のブルドン管式圧力計を使用しています。

<仕様>

- ⑫荷重板……………4
- ⑩油圧ジャッキ……………1
- ⑨ピストン取付板……………1
- ①ダイヤルゲージ 1/100×20mm ……2
- ⑤ダイヤルゲージスタンド……………2
- ④貫入ピストン……………1
- ⑧木製架台……………1
- 球座……………1

0J 式現場 CBR 試験装置 設置試験方法

- 1) 試験箇所の表面を直径約 30cm の水平な面に仕上げ乾燥砂を薄く敷きならす。
- 2) 試験装置を組み立てる。(別紙図参照)
 - ① 重受板を設置し、貫入ピストンを取付板にセットし地面立て荷重板をセットして下さい。
 - ② ダイヤルゲージをダイヤルゲージスタンドにセットして下さい。
 - ③ 油圧ジャッキを取付板に載せて下さい。
 - ④ ダイヤルゲージをセットしゲージを 0 に合わせて下さい。
 - ⑤ ジャッキ上部に球座をセットして下さい。
- 3) 貫入ピストンを試験面に密着させる為 0.05KN(5kgf)以下の荷重を加える。この時の荷重計及び貫入量測定装置の読みを初期値にする。
- 4) 貫入ピストンを 1mm/min 速さで貫入させて下さい。
貫入量 0.5mm、1.0mm、1.5mm、2.0mm、2.5mm、3.0mm、4.0mm、5.0mm、7.5mm、10.0mm 及び 12.5mm の時、荷重計の読値を記録する。貫入量が 12.5mm になる前に荷重計の読みが最大値に達した時は、荷重計の読みと貫入量を記録しておく。